

校訓	真善美	令和6年度 学校だより	発行日	令和6年6月4日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心を育てる	「荒中だより」 6月 水無月 第9号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

3年生修学旅行 平和セシモニー平和宣言(於・長崎平和公園) 美化委員会



私たちが長崎を訪れる理由は何か。どうして私たちは知らなければならないのか。この先、私たちは何をしなければならぬのか。今日まで、何度も、考える機会を与えられてきました。国のために命を捧げた青年。彼らは死の瀬戸際でその目に何を映し、心に何を浮かべたのでしょうか。一発の爆弾で死んだ人々は、人生を省みる時間も与えられず、どれほど無念だったのでしょうか。そして、生き残された家族や友人は、どんな思いを抱えて、その先の人生を生きていったのでしょうか。知ろうとすればするほど、耳をふさぎ、

目を逸らしたくなるような現実が、ありました。

事前学習で、原爆被害者の方から聞いたのは、それまでの想像を遙かに超えた惨状。本当に恐ろしいと思いました。自分や大切な人の命が、一瞬で消えてしまう。それだけではない。生き残った方々も、重い後遺症に苦しみ、そして、人間の恐怖心が生む差別を受けました。死者7万人。原爆の恐ろしさを伝える数字です。けれど、当時の様子を知るたびに思ったのは、数字では伝わらない現実があったということ。7万人が死んだ攻撃が一つあったのではないということ。7万通りの人生が奪われ、思い出と未来の希望が失われ、どうしようもない悲しみと苦しみ、7万という人の数だけ生まれたということに、気づかされました。特別攻撃隊、なぜ、それを実行してしまったのか。特攻隊員の方にお話を聞きました。なぜ、逃げるができなかったのか。なにがそうまでさせたのか。疑問の答えは国の教育だという事実衝撃を受けました。午前中、太刀洗平和祈念館にも行きました。たくさんの特攻隊員が飛び立ち、爆撃に巻き込まれたたくさんの兵士や避難していた小学生が亡くなった場所です。

今、私たちは恵まれています。好きなだけ勉強ができ、暖かい家や食事がある、たくさんの方に見守られています。この生活は、これから先ずっと続くのでしょうか。私たちは、このきれいな空の下で、戦争の生む苦しみや悲しみ、その残酷さを学んでいます。その戦争がいつか実体験にならないといえるのでしょうか。テレビでは日常的に、国が国を侵略したり、たくさんのミサイルで攻撃したりする映像が写されています。いつか近い未来、頭上をミサイルが飛んで行っても不思議ではなくなりました。戦争はもはや、遠い過去の出来事ではなくなってしまいました。どうして私たちは知る必要があるのか。私たちは何をすればいいのか。原爆被害者の方は、私たちにこう言いました。「戦争はすぐに起こるのではない。原因は10年も15年も前にある。今のうちからしっかり学び、ダメなものはダメだと言えるようになってほしい。そして、学んだことを伝えるのが皆の役目だよ」と。今は思います。戦争について学ぶことが、何かにつながる、それを信じるこそが必要だと。話を聞き、実際に目にするまでは、考えなかったことがたくさんありました。戦争の始まりは苦しみの始まりですが、戦争の終わりが苦しみの終わりではない。あの日、犠牲になった方々が、様々な形で戦争の残酷さを後世に残しました。そのバトン、私たちがつなげなければなりません。平和の灯は、儚くもたしかに燃えています。放っておけば、消えてしまうでしょう。灯を守るためにくべるのは、怒りではなく、平和を願う心でなくてはなりません。広い世界のどこかに今も、地獄はあります。地獄の中で平和を願うのではなく、平和な中でより小さな平和について考えられる、私たちの今を大切にしたい。平和な世界を、まずは自分たちの周りから実現したいです。

私たちの育つ兵庫県伊丹市荒牧では、初夏になるとたくさんの薔薇の花が咲き誇ります。薔薇の花ことばは愛情です。私たちはたくさんの愛情の中で生きています。そんな私たちだからこそ、実現できることがあるはず。それを今日ここで、誓います。私たち荒牧中学校生徒は、1945年8月6日、8月9日を決して忘れず、世界で唯一の被爆国で育った者として、核兵器廃絶と平和な世界の実現のために、共に歩んでいくことを宣言します。

令和6年5月21日 荒牧中学校 平和宣言

【3年生のみなさんへ そして、1,2年生のみなさんへ】

平和な時間、幸せな時間。日常の当たり前をふと立ち止まって客観的に思う時間を持ってみてください。同じ“今”を生きる地球の他国では、何が起きているのでしょうか。学べること、食べること、寝る場所があること、家族がいること、学校に通えること……。置かれた環境、時間に感謝し、今一度、自分の人生についてしっかり考える時がきています。目の前のことをとにかく一生懸命やりきること、これからはその先を見通して計画的に時間を使うことができることを大切にして、後悔しないよう仲間とみんなで頑張ってください。受験は団体戦。